



広報たはら

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2015
平成27年

3.15

我らを育む
母なる海よ空よ!

目次

「しみんの広場」	2
和地小・堀切小・伊良湖小 閉校記念特集	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールレポート	6
学校生活の1コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
お知らせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 閉校記念特集 2ページ
- 閉校記念特集 3ページ
- 地域の話(大草校区) 4ページ
- 市民活動を応援するページ 5ページ



● 堀切小閉校記念式典(平成27年2月9日)



● 和地小閉校記念式典(平成27年2月12日)

閉校記念特集

学校発!

2月に閉校記念式典を終え、4月から伊良湖岬小学校としてスタートする、和地小・堀切小・伊良湖小。それぞれの学校の良いところを生かし、新しい伊良湖岬小学校になる3校の特色をご紹介します。



● 和地小校舎



● 堀切小校舎



● 伊良湖小校舎



● 伊良湖小閉校記念式典(平成27年2月10日)

和地小学校

山と海に恵まれた自然を生かし、心豊かでたくましい、心身ともに健康で実践力のある子どもを育てています。和地校区全体で子どもたちを育てようという気風があります。保護者や地域の人たちの学校への思いが強く、PTA作業や学校行事に多くの方が積極的に参加するなど、子どもは地域の宝であるという意識が強い学校です。

◆和地小の裏山

大正9年に校地になった裏山を「緑の教室」とし、自然に親しみ、自然に学ぶをテーマに、昭和50年代から登山道や展望台、アスレチック、キャンプ場、果樹園などを継続して整備しています。今



● わが家の木 活動

までに「ササユリの保護活動」や裏山を駆け登る「チャレンジ山登り」



● 五平もちづくり体験



● 和地海岸で名刺交換

◆阿南町との交流

果樹園の樹木を家族で1本ずつ育てて収穫する「わが家の木」と呼ばれる活動を展開してきました。こうした学習林や学校緑化活動が認められ、平成元年に全国植樹祭大会会長賞、平成8年に緑化推進運動内閣総理大臣賞と2度の全国一を受賞しました。

平成18年文部科学省の「豊かな体験活動推進事業」の委嘱を受け、長野県阿南町4小学校児童との相互交流、阿南町での宿泊体験を開始しました。平成24年からは和地・堀切・伊良湖小と阿南町での2泊3日の宿泊交流学習へと引き継がれています。今年度は五平もちづくりを体験し、阿南町の小学生との交流を深めました。

堀切小学校

しっかりと鍛え、しっかりと学び、しっかりと遊ぶを校訓とし、家庭・地域の人たちとともに、知・徳・体の調和のとれた実践力のある子を育てています。

食育に力を入れており、自分たちの畑で野菜を作り、工夫して調理する活動や、他学年と会食するなかよし給食を実施しています。

これらの活動が認められ、平成17年度には全国学校給食研究協議会から文部科学大臣賞を受賞しました。

◆スペシャルなかよしデー

夏休みの出校日に、自分たちで育てた野菜を使って全校でバーベキューを楽しんでいます。本年度は、みんなの畑で育てたスイカを使って、スイカ割り大会を実施しました。



●スイカ割り

◆「ひだまり組」活動

地域のお年寄りといっしょに、1年生から4年生はお手玉、竹とんぼなどの昔の遊びを、5年生はもちつきを体験しています。



●昔遊び



●ふるさと探訪

6年生は校区の史跡や文化財、寺社、自然を巡るふるさと探訪を実施しています。お年寄りから地域の宝についての話を聞くことで、ふるさとへの愛着を高めています。

◆防災教育先進校

平成23年度から地震津波対策を中心とした防災教育に取り組んでいます。子どもたちの判断力を高める年3回の在校時、登校時、下校時の避難訓練、週3回の持久走訓練を通して、津波にまきこまれない知力・体力・気力の育成に努めています。

平成25年度には、愛知県学校安全優良校として表彰されました。



●避難訓練

伊良湖小学校

知・徳・体の調和のとれた人間形成を図るため、明るく、健康で、たくましい子 ねばり強くやりぬく子 深く考えすすんで学ぶ子を育てています。親子で取り組む行事が多く、ほとんどの家族が出席しています。

地域の人たちに自分たちの学校との意識が強く、子どもたちも地域の人との接点が多いため、学校だけでなく日常生活の中での強いつながりが特徴です。

◆スクールキャンプ

夏休みに、飯ごうでご飯を炊き、全校でカレーライス作りをしました。低学年は、キャンプファイヤー終了後帰宅し、高学年は、学校の運動場のテントで縦割班ごと一泊しました。夜には、6年生企画の肝だめしもありました。



●カレーライス作り



●自分たちで作ったカレーライス

◆祖父母学級（もちつき）



●もちつき

近くの田んぼで5年生が育てたもち米を使って、全校でもちつきを行いました。おじいさん、おばさんにもちのつき方を教えてもらい、あんころもちなどを作りました。

◆磯丸学習

平成26年が糟谷磯丸翁生誕250年でした。6年生は学芸会で磯丸劇を発表しました。



●学芸会での磯丸劇

また、各学年が授業で磯丸の学習をしました。特に5年生は学芸員などの外部講師を招いて話を聞き、理解を深めました。



▲「子ども安全見守り隊」が、地域の子どもの安全・安心を見守ります



▲笑顔あふれる「男の料理教室」。シルバー世代が主役です

地域の話

大草校区

「笑顔とやさしさあふれるまち」

市民館を拠点とし、シルバー世代の生きがいづくりに取り組んでいる大草「コミュニティ協議会」から
お便りが届きました。

地域発!

大草熟年友の会（熟友会）

大草熟年友の会は、市民館を拠点として、さまざまな活動に取り組んでいます。毎月、第2金曜日は定例会「お茶のみ会」を開催し、ゲームをしたり講演を聴いたりいろいろなイベントを企画しています。最近では、健康手踊り「これから音頭」

を簡単に

アレンジ

し、熟友

会の応援

歌として

活動前に

踊ってい

ます。

1月23

日（金）、



▲健康手踊り「これから音頭」を披露しました

田原文化会館で開催された芸能発表会では、この健康手踊りを初披露しました。最初はとても緊張していましたが、観客も一緒になって会場全体が盛り上がり、最後は笑顔でやり遂げました。

子どもたちの安全・安心のために

熟友会のメンバーが中心となり、平成19年に「子ども安全見守り隊」を結成しました。現在18名で子どもたちの登下校の見守り活動を行っています。毎年4月には大草小学校の子どもたちとの顔合わせ会があります。

隊員の中には小学校の卒業式に自主的に参加し子どもたちの成長を見届ける人もおり、活動を通してさまざまなつながりが生まれています。

シルバー世代の「男の料理教室」

定年退職後の時間を有意義に使って家庭サービスをしようと、シルバー世代が集まり「男の料理教室」を年間6回開催しています。参加者は、毎日昼食の準備をしている人から、炊飯器のスイッチの入れ方を知らない人までさまざま。家庭菜園で作った自慢の野菜などを持ち寄り、料理を楽しんでいます。今年度の市民館まつりでは、だしのきいたシブるな「男のうどん」を提供し、皆さんから「おいしい」と褒めていただきました。回を重ねるごとに手際も良くなり、料理の楽しさも増してきます。分量や手順が違ってもおいしい男の料理ができあがり、自然に笑みがこぼれます。

大草校区では、これからも参加者同士の交流を深めながら笑顔があふれる活動を進めていきます。





市民活動を応援するページ



市民活動紹介

NPO法人たはら広場

発足は「フリースペースのリサイクル本コーナー活用」から!

田原 市中央図書館のオープン（平成14年）に先立ち、改修を終えた田原文化会館。そこにはフリースペースができました。私たちは、このスペースをどのように活用したらよいかと検討を重ねました。そして、「リサイクル本コーナー」で、図書館の除籍本などの資料を販売する「リサイクル・ブック・オフィス（毎週金・土・日の午後2～7時開店）」として利用を始めました。これが、私たちの活動の原点です。

現在、フリースペースは、いつでも誰でも立ち寄ることのできるにぎやかな交流の場所となっています。

活動の幅は広がり、「リサイクル・ブック・オフィス」の運営のほかにもさまざまな活動を行っています。

●田原市図書館サポーターズ「おおきなかぶ」の運営

- ・図書館ボランティア活動の企画・実行
- ・中央図書館のお誕生日会（毎年8月2日ごろ）
- ・本ピカ隊（「こどもしつ」の本をキレイにする活動 毎月第2金曜日）
- ・まちほんブック交換会（テーマに沿った本の交換 年4回ほど）

●その他図書館や学校図書館などに関わる市民活動のサポート

- ・走れ東北！（シャンティ東北移動図書館支援）
- ・フェアトレードって何？（フェアトレード活動や製品のご紹介）など

中央図書館館長室での月例会において、これらの活動を検討し実行しています。

このほか、飛び入りプランも話し合いで対応しています。今年度は、1月12日（月・祝）に、フィンランドでナースとして働いているカッリオワかなさんをお呼びして「フィンランドからのわかなレポート」と題して、お話を伺いました。

NPO法人たはら広場では、あなたの【やってみたい楽しいプラン】提案をお待ちしております。あなたのすてきなアイデアを、市民活動につなげてみませんか。

まずは一度、「リサイクル・ブック・オフィス」をのぞきに來てください。



▲本ピカ隊の活動の様子。絵本を一冊一冊丁寧に拭き、びかびかにしていきます



▲リサイクル・ブック・オフィス

お問い合わせ

NPO 法人たはら広場事務局 ☎ 080-6955-2167 🌐 <http://www.taharahiroba.or.jp>

市民活動支援センターからのお知らせ

平成27年度から、市民活動支援センターの開設時間に変更になります。

- 火・金曜日 13:00～18:00
- 土曜・祝日 12:00～17:00

引き続き、皆さんの活動を全力でサポートさせていただきます。お困りごとがありましたら、ぜひ市民活動支援センターにおこしください。



田原市民活動支援センター

🌐 <http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

☎ 22局 1111（内線812）※開設時間のみ

📠 23局 0180 ✉ shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

メールマガジン配信中です！

センターから市民活動に関する新鮮な情報を随時、お届けします。配信ご希望の方は、メール本文に「メール配信希望」とご記入の上、左記センターアドレスへメール送信ください。





スクールレポート

SCHOOL REPORT 78

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「学校保健委員会」と「登山集会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原東部小学校 「学校保健委員会」



背筋ピン！ 正しい姿勢で元気な心



▲鉛筆の持ち方を学ぶ様子

田原東部小学校では「背筋ピン！正しい姿勢で元気な心」をテーマに、学校保健委員会を行いました。1年生は鉛筆と箸の持ち方について、2年生は姿勢をよくする器具づくり、3年生はよい姿勢と悪い姿勢を体感する授業を行いました。

鉛筆の持ち方について全校児童の様子を調べてみると、低学年では50%、高学年でも40%の子もたちが、正しく鉛筆を持てていないことがわかりました。このような実態から、本校では全校体制で鉛筆の持ち方について指導しています。クリップを付けた鉛筆を親指、人差し指、中指で挟み、正しい鉛筆の持ち方を練習しています。



◀筋力づくり運動を行う子どもたち

高学年はスポーツインストラクターを招き、筋力づくり運動を行いました。「正しい姿勢を続けるには、背骨の周りの筋肉を鍛えなければなりません。さあ、今から楽しく体を動かしていきましょう!」という元気いっぱいのかけ声で、体幹を鍛えることができました。

野田小学校 「登山集会」

秋深し きずな深まる 登山集会



▲コトギス山の頂上で「ヤッホー」

▼急な岩場は慎重に下ります



平成26年11月20日、野田小学校では、登山集会を行いました。この集会は、昭和48年に始まり、今年で42年目を迎える、本校の伝統行事です。

集会に先立って、職員とPTA役員で、コトギス山の登山道整備を行います。多くの保護者にとっては小学生以来の登山で、当時のことが懐かしく思い出されるようです。

登山集会は、全校児童がなかよし班(たてわり班)に分かれて登ります。登りは結構長く、下りは急な岩場が続くので、低学年の子どもたちには少々厳しい行程ですが、年上の子が下の子の世話をしながら進みます。互いに励ましながら、なかよし班の絆はしだいに深まっていきます。

がんばって登った山頂からは、太平洋、三河湾、そしてふるさと野田が一望でき、子どもたちの大きな歓声があがります。また、下りの難所として、ロープを頼りに下りる急な岩場があり、6年生が1年生の手を引いたり、「ここに足を置いて」と教えたりする姿が見られます。

この登山集会を通して、地域のよさを知り、ふるさと野田を愛する心が育まれることを願っています。

2月14日(土)

日ごろの感謝を
花束に込めて

フラワーバレンタインイベントが蔵王

山展望台で開催されました。日本一の花の生産地である田原市において、花を贈る習慣を普及させようといわれたこのイベント。花で飾られた展望室では、記念撮影するカップルなどの姿が見られました。



▲きれいな花々で飾られた撮影スポット。花はみんなの笑顔を誘います

2月21日(土)

皆が安心できる
避難所を考える

避難所開設・運営訓練(田原市市民提案型委

託事業)が若戸市民館で行われ、市民約50名が参加しました。災害時にも必要となる男女共同参画の視点を取り入れて行われたこの事業。参加者は、高齢者や女性の立場を考えた避難所の設営や炊き出しなどの訓練を行いました。



▲段ボール製ベッドの組み立てを行う参加者

2月21日(土)

古墳時代に
思いをはせて

西鎌田古墳発掘調査の説明会が行われ、約80

名が参加しました。この古墳は、道路工事の際に発見された直径約12mの円墳です。市内では約30年ぶりに行われた本格的な調査で、勾玉や鉄製品などが出土しました。参加者は、調査の概要や成果などについて熱心に耳を傾けていました。



▲西鎌田古墳(田原町)発掘調査の成果と遺物について説明を聞く参加者

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想

105

たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会の紹介

平成17年2月に環境共生まちづくりの推進役として発足したたはらエコ・ガーデンシティ地域協議会。

市民、事業者、教育機関、行政からの21団体により構成され、3つの活動部会に分かれて、たはらエコ・ガーデンシティ構想の実現に向けて活動しています。

今回は、今年度の活動部会の活動内容を紹介します。

イベント部会

エコ普及啓発を促進するイベントを開催し、地球温暖化防止対策に関する意識啓発を図ります。

【主な活動内容】

- たはらエコフェスタ2014の開催（平成26年7月27日開催）
- たはらエコフェスタin渥美の開催（平成27年2月15日開催）



● たはらエコフェスタin渥美

●省エネ推進部会

環境に対する意識啓発のきっかけづくりを進め、市民、事業者などの省エネの普及促進を図ります。

【主な活動内容】

- たはらエコチャレンジ宣言の見直しおよび登録者の募集
- 夏季冬季ライトダウンキャンペーンの実施
- 省エネ普及啓発ちらしの作成

●資源循環部会

廃棄物処理に関する3R活動（リデュース・リユース・リサイクル）などを推進し、資源循環の促進を図ります。

【主な活動内容】

- 生ごみ削減方法のPR
- 雑がみ知識や回収方法のPR
- 菜の花情報交換

市民や事業者の皆さんとともに、環境と共生する豊かで持続する地域を目指して今後も活動していきますのでご協力をお願いします。

▼環境政策課

☎ 23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

環境戦隊たはらエコレンジャー 環境けいじばん 30



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

カラスが鉄塔や電柱の上に巣を作っているのを見たことがありますか？カラスの巣作りによる停電被害についてお知らせします。



◆2月～5月はカラスの巣作りのピークです



毎年2月～5月にかけて、カラスの巣作りがピークとなります。カラスは、巣作りに金属製ハンガーなどを使うことがあり、鉄塔や電柱の上に巣を作ると、漏電やショートで、広範囲な停電が発生させる恐れがあります。

◆巣作り状況と予防措置

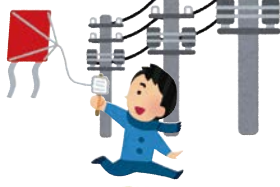
平成26年中に田原市で確認された電柱の上での巣作りは42箇所ありました。中部電力では、パトロールを強化して、カラスの巣作りの発見と停電防止措置に努めています。市民の皆さんの協力が不可欠です。

◆停電防止のためのお願い

- 金属製ハンガーや針金などをみだりに放置しない。
- 鉄塔や電柱上にカラスの巣を発見したら、中部電力（株）田原サービスステーションまで連絡する。

◆子どもを危険から守るために

電気は、扱い方一つで危険なものになります。子どもたちに正しい電気の使い方を教えましょう。



- 電線の近くで、たこあげやラジコン飛行機で遊ばない。
- 変電所に入ったり、電柱に登らない。
- 切れた電線にさわらない。

▼環境政策課

☎ 23局3541 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

▼中部電力（株）田原サービスステーション

☎ (0120) 985局636

設楽町のちびっこたちが菜の花畑へ

愛知県設楽町(平成2年姉妹都市提携)



●菜の花交流のきっかけ

平成14年度に農業委員会が一足早い春を届けようと、津具保育園に菜の花をプレゼントしたことから菜の花交流が始まりました。隔年で相互に訪問を重ね、園児が田原市を訪れる年はいちご狩り、みかん狩り、菜の花摘みなどを行ってきました。平成22年の交流20周年を契機に、津具保育園を含めた設楽町内の4保育園から、毎年2園ずつ受け入れを行っています。

●早春の田原市を満喫

1月28日(水)に設楽町の清嶺保育園と田口宝保育園の年中・年長園児29名が田原市にやってきました。

田原市に到着した園児たちは、楽しみにしていたイチゴ狩りを大久保町の農園で体験し



ました。高設栽培の真っ赤なイチゴは、ちょうど園児の目の高さで実り、みんな真剣な表情で品定めをしていました。口いっぱい大きなイチゴをほお張ると「甘くておいしい!」と笑顔いっぱい。楽しいひとときを過ごすことができました。

その後、加治町の菜の花畑を散策しました。園児たちが菜の花畑に隠れていたキャベツ畑とかいくんを見つけ、駆け寄る姿に、菜の花を管理しているNPO法人田原菜の花エコネットワークの皆さんからも笑顔がこぼれました。

渥美半島でこの時期に見られるキャベツ畑やブロッコリー畑の美しい風景。これも豊川用水の恩恵を受けているおかげです。これからも常に感謝の気持ちを忘れずに、上下流域の交流を続けていきたいものです。

▶政策推進課 ☎ 23局3507

家具などの転倒防止の重要性
巨大地震が発生し、大きな家具や電化製品の下敷きになれば命に

でした。
や、割れた
ガラスや食
器類の落下
によるもの
でした。



割が、家具
などの転倒
や、割れた
ガラスや食
器類の落下
によるもの
でした。
家具や電化製品が凶器に
家の中を見渡してみてください。
い。どのような家具や電化製品が
あります。か。もしも今、巨大地震
が起きたら、身の回りの家具や電
化製品が凶器となり、あなたを襲
うかもしれません。実際に、阪神・
淡路大震災でのケガの原因の約8
割が、家具

にちは、しろちゃんです。
こいつ起きてもおかしくないとい
われている巨大地震ですが、皆さん
の家庭では、どのような対策を行っ
ていますか。

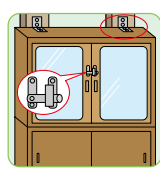
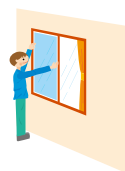
しろちゃん
防災知恵袋
家具や電化製品の転倒による被害を防ごう

みんなで取り組む防災・減災

12



事前の対策とは?
家具などの下敷
きにならないよ
う、配置を工夫
しましょう。
タンスや食器棚は、
で固定しましよ
う。
開き戸に留め具
を付けましょう。
窓やガラス戸に
は、飛散防止
フィルムを貼りま
しょう。
防災対策課 ☎ 23局3548





募集

第1・2回危険物取扱者試験

▼種類Ⅱ【第1回】甲種、乙種全類、
丙種【第2回】甲種、乙種4類
▼日時Ⅱ【第1回】5月31日(日)【第
2回】6月14日(日) ▼場所Ⅱ名
古屋市内 ▼申し込みⅡ①市役所消
防課または消防署・各分署で配布さ
れる受験願書に必要事項を記入のう
え、4月13日(月)～22日(水)の
期間に郵送
②4月10日(金)
午前9時～19
時(日)午後5
時の期間に一般



財団法人消防試験研究センターホ
ムページにて電子申請 ▼その他Ⅱ
テキストおよび事前講習会について
は、お問い合わせください。

●一般財団法人消防試験研究セン
ターホームページ

http://www.shoubo-shiken.or.jp/

▼消防課
☎23局4074 FAX23局0180

田原市地域農業再生協議会 臨時職員

▼募集人員Ⅱ1名 ▼採用期間Ⅱ5
月7日(木)～
6月30日(火)

▼勤務場所Ⅱ
田原市役所

▼勤務内容Ⅱ
パソコンによ

るデータ入力など

▼勤務形態Ⅱ月～金曜日(祝日を除
く)午前9時～午後5時 ▼賃金Ⅱ
時給850円 ▼選考方法Ⅱ面接

(詳細は後日通知) ▼申し込みⅡ4
月10日(金)までに農政課にある履
歴書に必要事項を記入のうえ提出／
郵送の場合は締切日必着

▼農政課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3517 FAX22局3817



農政課事務補助臨時職員

▼募集人員Ⅱ1名 ▼採用期間Ⅱ5
月7日(木)～8月31日(月) ▼勤務

場所Ⅱ田原市役所 ▼勤務内容Ⅱパ
ソコンによるデータ入力など ▼勤

務形態Ⅱ月～金曜日(祝日を除く)午
前9時～午後5時 ▼賃金Ⅱ時給

850円 ▼選考方法Ⅱ面接(詳細
は後日通知) ▼申し込みⅡ4月10日

(金)までに農政課にある履歴書に
必要事項を記入のうえ提出／郵送の
場合は締切日必着

▼農政課
(〒441-3492 住所不要)
☎23局3517 FAX22局3817

東三河生涯学習連携講座
受講者

東三河生涯学習連携講座

受講者

「自然」をテーマに、東三河各地
の魅力や課題などを検証します。

▼講座名Ⅱ「歩いて探そう東三河の
宝 春編」 ▼日時／テーマ／場所Ⅱ

表のとおり ▼定員Ⅱ50名(申し込
み多数の場合は抽選／結果は全員に
郵送) ▼受講料Ⅱ無料 ▼申し込

みⅡ4月24日(金)までに電話にて
▼その他Ⅱ秋に自然と史跡をテーマ
に講座を開催予定です。定員を超え

る申し込みがあった場合、今回の講
座を受講していない方を優先します。



☎23局3635 FAX22局3811
syogaku@city.tahara.aichi.jp

	日 時	テーマ	場 所
1	5月22日(金) 午後1時30分～3時30分	ジオツアー in 蒲郡 ～マグマの島・竹島～	蒲郡市
2	6月5日(金) 午後1時30分～3時30分	初夏の渥美半島先端を歩く	田原市
3	6月19日(金) 午前10時～ 午後0時30分	石が教えてくれる 東三河の大地のなりたち	新城市

る申し込みがあった場合、今回の講
座を受講していない方を優先します。



▲ 2015 年度版田原市健康カレンダー

田原市では、健康情報、各種保健事業（住民検診、各種がん検診、乳幼児健診など）の日程や当直医などを掲載した健康カレンダーを配布しています。また、カレンダーには、市内医療機関マップや福祉・介護サービスなども掲載しています。

地区自治会を通して全世帯に配布していますが、配布されない世帯や転入された方などには、市役所、あつみライフランド、渥美支所、赤羽根市民センターでもお渡ししています。皆さん、ぜひご利用ください。

▼健康課（市役所内）
☎ 23局 3515 FAX 23局 3810

▼健康課（あつみライフランド内）
☎ 33局 0386 FAX 33局 0319

2015年度版「田原市健康カレンダー」をご活用ください

生活

堆肥散布による悪臭などの発生防止にご協力を

これから夏場にかけて、農地への堆肥散布の時期を迎えます。

堆肥を散布したとき、近隣の住宅や観光施設などから、悪臭やハエなどに関する苦情を招くことがあります。平成26年は、悪臭苦情が約30件寄せられました。

堆肥を使用する際には次の点に注意し、生活環境の保全と水質汚濁などの防止にご協力ください。

◆完熟堆肥の使用

十分発酵させ悪臭を伴わない完熟堆肥を使用しましょう。

◆散布後、直ちに鋤き込む

散布後、雨天により鋤き込みできないことのないよう、天候に注意しましょう。

◆生活環境に配慮を

特に住居や観光施設に近い農地に散布する場合は、生活環境に十分配慮し、悪臭はもちろんのこと、粉じん、ハエなどの害虫や汚水が発生しないようにしましょう。



◆過剰な堆肥散布をしない

地下水汚染の原因にもなる過剰な堆肥散布はやめましょう。

▼農政課

☎ 23局 3517 FAX 22局 3817

▼環境政策課

☎ 23局 3541 FAX 23局 0180

豊橋赤十字血液センター 移転開設25周年記念

◆ありがとうキャンペーン

日ごろから、献血にご協力いただいている皆さんへ感謝の気持ちをこめたキャンペーンを開催します。



▼期間 4月6日（月）～4月11日（土）

▼場所 豊橋赤十字血液センター

▼その他 最終日の4月11日（土）には、プロバスケットボール選手らによる握手会・サイン会あり。期間中献血していただいた方にはプレゼントあり。輸血用血液の安定確保のため、ぜひお越しください。

▼愛知県赤十字血液センター豊橋事業所事業課

☎ (0532) 32局 1569

3月の 渥美半島の花と鉢花 ▶ 農政課 ☎ 23局 3517



スイートピー

（花／出荷時期：10月～3月）

花ことば

別離、門出

卒業式などによく使われる花で、県内1位の約450万本が出荷されています。



羽衣ジャスミン

（鉢花／出荷時期：1月～4月）

花ことば

誘惑

香りが強くかわいらしい花で、約15万鉢出荷されています。

歴史探訪

クラブ! 其の164 History Inquiry Club

文化生涯学習課 ☎ 23局3635
FAX 22局3811

史跡 渡辺華山池ノ原幽居跡

池ノ原公園は、田原中学校と成章高等学校の間、田原福祉専門学校の北側にあります。ここは、渡辺華山が晩年に暮らし、最期を遂げた場所として知られています。平成4年には、一部が田原市の史跡に指定されました。

明治42年（1909）、池ノ原公園の整備が始まりました。華山会設立準備事業のひとつとして用地確保、公園化および東郷平八郎筆「華山先生玉碎之址」の碑の建立が行わ

れました。翌年、華山会の発足とともに「池ノ原公園」と命名。大正3年（1914）には、錦織剛清氏寄贈の華山の銅像が建立されたのですが、昭和18年（1943）、太平洋戦争の資材に供出されました。昭和3年には、華山会により自筆墓表「不忠不孝渡辺登」の碑が建立されました。昭和30年、「渡辺華山関係資料」が国の重要文化財に指定されました。その後、日展彫刻家小田寛一氏に依頼し、銅像を再建。屋敷の復元も行われました。屋敷の横には、華山直系の画家松林桂月氏題字の石碑「華山先生幽囚之家」があります。

そして、平成5〜7年に公園の南側に散策路、四阿、あずまや華山の生涯を刻

したオブジェなどを整備、新しい池ノ原公園としてお披露目されました。これにより当時の屋敷地のほぼ全域が公園化されました。

華山は、江



●東郷平八郎揮毫の石碑と自筆墓表石碑



●松林桂月題字の石碑

戸の友人への手紙で池ノ原の様子を「狐、蛇が出るようなさびしいところ」と記し、住居については「低い身分の狭い屋敷だが、築6、7年で新しくきれいだ。敷地は1500坪ほどあり、元気になれば畑も耕せる」と記しています。この屋敷は華山が藩の農業振興のために招いた豊後日田出身の大蔵永常に与えられたもので、当時は「御産物屋敷」と呼ばれていました。

残っている間取り図によると、取り壊される前の屋敷は、現在のものとは多少異なります。華山が自害

した製糖小屋は現在の銅像付近で、屋敷の正面も南側に向いていました。周囲には武家屋敷の土手や椿の生垣がみられ、往時の様子をとどめています。公園



●渡辺華山銅像

内の池ノ原会館は、

平成19年に開館し、立礼席によるお抹茶（有料）を楽しむこともでき、「全楽庵」と名付けられた茶室や和室を利用することもできます。

池ノ原公園は、華山をしのぶ歴史公園として親しまれています。

（鈴木）

今月の「表紙」

▼来年度から、一つの小学校へ統合する和地・堀切・伊良湖小学校。広大な太平洋に面し、自然豊かな地域で育まれた児童たち。学年を超えて兄弟のように過ごしたであろう皆さんは、取材中でも笑顔いっぱいであいさつしてくれました。それぞれの学校での思い出を胸に、新しい友だちと海や山を駆け回ってくださいね。（M）

【表紙の写真】和地の磯と星空